

会員発意によるラウンド・テーブル

Brown Bag Lunch 方式による自由討論



世話役：岩澤美帆会員(国立社会保障・人口問題研究所)

世界的に大規模調査や高コストの分析手法が成果を上げる中で、人口学的研究も、多数の研究者が関わるプロジェクト形式のものが増えてきている。従来、こうした研究協力体制の確立は、個々人の研究者の努力に委ねられてきた。しかし、年に一度、人口学に関心がある研究者が顔を合わせる大会の機会を、プロジェクトの立ち上げや拡張を考えている研究者がアイデアを披露し、協力者を募る機会、あるいは専門家から意見を聴取できる機会として活用できれば、会員間の幅広い交流が進み、より質の高い成果に結びつくのではないかと期待できる。過去にはバイオマーカを使った新しい調査プロジェクトに関するプロポーザル報告があり、会員間での貴重な情報交換の場となった。本大会でも昼休みの時間を使い、「会員発意によるラウンド・テーブル」の場を確保することが可能なので、報告希望者はふるってご応募いただきたい。